

# 公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2017年9月11日（月） 17時00分～20時00分

場 所：北海道大学高等教育推進機構・N232号室（札幌市北区北17条西8丁目）

出席理事：柴田（一）、林、土居、伊王野、山下、早野、柴田（克）、小宮山、寺田、大山、望月、  
徂徠、花輪、伊藤、春日（以上15名）

出席監事：立松（以上1名）

欠席理事：嶋作

欠席監事：田中

また、佐藤事務長、田口谷事務員が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：柴田一成

署名人：柴田一成、林 左絵子、土居 守、立松健一

I-2. 前回議事録の確認

資料2-1、2-2、2-3に基づき、前回（2017年6月3日）および電磁的決議の理事会議事録が報告され、確認された。

## II. 報告

II-1. 移籍・退会等の報告（山下）

2017年6月1日～2017年9月5日までに正会員入会申請111名、準会員入会申請29名、準→正の移籍申請2名、正→準の移籍0名、正会員退会者1名、準会員退会0名の報告があった。

II-2. 「安全保障と学術」について（柴田（一））

天文月報11月号より5回の連載予定である。会長の1ページ記事の紹介があった。物理学会、民間企業、防衛大学の方にも執筆を依頼中である。次回の千葉大学での年会で開催予定の会員のディスカッションについて、会員全体集会は時間が限られているので別の日に特別セッションとして開催する方が良いとの意見が出された。

II-3. 各担当理事等の現状報告

1. 年会担当（寺田）：今年会は11セッション8ポスター会場で開催中。特別セッションは天文教育フォーラムのみ。投稿締切前後にトラブルがあった。会員全体集会でルールの徹底を促すことが確認された。
2. 月報（小宮山）：「安全保障と天文学」「Suprime Cam」の特集号が3月号まで継続する予定。
3. PASJ（嶋作：代理・伊王野）：紙版の印刷業者を香港の会社から英国の会社に変更。インパクトファクターが微増(1.961(2015)→1.972(2016))。「HSC」「ひとみ」「分子雲衝突」の特集号は遅れ気味。APSPM(Asia-Pacific Solar Physics Meeting)で非日本人を対象とした

PASJ 賞を授与することの許可を打診され了承した。

4. 天文教育（大山）：今回の公開講演会には 102 名の参加があり質問が活発であった。参加者に対してアンケートを実施すると有効であるとの指摘があった。また、今後は、ポスターを駅に貼るなど積極的な広報の必要性が指摘された。公開講演会のマニュアルを作成した。講師紹介プログラム 3 件申し込みがあり現在 2 件成立した。
5. 庶務（伊王野）：代議員選挙の準備中。2019 年秋、2020 年春の年会開催地の検討・交渉中。
6. 広報（望月）：学会 HP のリニューアルを進めている。会長挨拶を掲載し、リード文をトップページ上部に追加した。学会職員のメール利用について関連理事に注意喚起の依頼があった。
7. 会計（早野）：会員全体集会で決算報告予定。各委員会に事業計画・予算計画の提出依頼予定。

#### II-4. コンプライアンス委員会（林）

明日の代議員総会で諮問事項に対する報告を行う。

#### II-5. 全国同時七夕講演実施委員会からの報告（山岡：代理・伊王野）

学術会議の後援の承認がとれた。今年の登録講演数は 99 件。1 万人程度の参加者と推定される。ここ数年間、年 100 件程度が続いている。

#### II-6 ジュニアセッション報告（山村：代理・伊王野）

新体制で来年春の年会に向けて議論を始めている。年会実行委員会や開催地理事と密に連絡を取って効果的なセッションが行えるようにする予定である。

#### II-7. 日本天文遺産選考委員会（半田：代理・伊王野）

会員からの推薦受付のためのアナウンスを準備中。一度推薦された対象者は数年間推薦者リストに残す案である。

#### II-8. インターネット版「天文学事典」制作プロジェクト（半田：代理・伊王野）

昨年設立した天文用語検討 WG に 10 名の会員を加え新 WG メンバーで改訂作業を開始した。事業の進行管理は日本評論社に委託し、システム全般・データベース制作・ウェブ制作についてはクリエイションパドレに発注した。書籍版著者に著作権譲渡の了解をもとめる書面を送った。内容の整合性などについて今後の継続的な改良作業が必要となる。

#### II-9. 事務所の近況報告（佐藤）

8 月中旬の夜に学会事務所前の道に太い枝が落ちており職員が軽傷を負った。国立天文台に連絡を取り、危ない枝の伐採・街灯の設置をしてもらえることになった。

#### II-10. 今後の年会進捗状況の報告

1. 千葉大（花輪）：公開講演会はプラネタリウム施設で開催予定。賛助会員用展示スペースをポスター会場の一部にすることを考えているが、ポスター数次第である。
2. 兵庫県立大（伊藤）：9/19-21 に姫路工学キャンパスにて 10 会場+体育館（ポスター）で開催。公開講演会は 9/22 に開催、姫路駅前のキャスパホールに申し込み予定。
3. 法政大（春日）：キャンパスが広くないので、ポスター会場をどこにするかを苦慮している。
4. その他、公開講演会費用の補助を科研費（研究成果公開促進費）に応募する際、これまでは 2 件独立に応募してきたが、2 回分をまとめて 1 件として応募した方が科研費の規程に

沿っているとの指摘があった。

#### II-11. 記者発表について（林）

昨日(9/11)開催され、4社が参加。新聞は翌日が休刊日であった。年会での放送局の取材も行われている。記者会見の会場は、記者オフィスの近くに設定した方が良いという意見がでた。

### III. 議題

#### III-1. 新規加入者の承認（資料3、山下）

111名の正会員および29名の準会員の入会申請と2名の準会員から正会員への移籍の申請があり、全会一致で承認された。

#### III-2. 正会員の会費の値下げについて（資料5、伊王野）

PASJの収支が大幅に改善されたことなどにより、今年度は18,000円である正会員の年会費を15,000円に減額しているが、現在も財務状況が良好であることから、今年度に引き続いて来年度も正会員の年会費を同額に減額する「会費に関する細則」の附則の変更について提案があった。最近の年会会場費の抑制依頼との関係について質問があり、会費の使い方について検討を予定しているとの説明の後、全会一致で承認された。

#### III-3. 「会費に関する細則」の変更について（資料6、伊王野）

秋季年会の講演締切直前に入会申請し、仮承認されたにもかかわらず会費の納入がなく入会取り消しになる人が例年数人存在する。この人物が10月以降に改めて正会員（学生）として半年入会の申請をするケースもあるが、この際、現在の「会費に関する細則」の文言では初年度割引を適用せざるを得ない可能性がある。そこで、これ回避するための細則の変更が提案され、文言の微修正の後、全会一致で承認された。

#### III-4. 天文教育普及賞選考委員会の設置について（資料7-1~3、土居）

前回の代議員総会に提出され、運用のイメージについての説明が不足しているとされた天文教育普及賞選考委員会の設置について、趣旨説明と申し送り事項などの資料をつけて再度代議員総会に提案することを全会一致で承認した。

#### III-5. キャリア支援委員会委員の交代（資料8、市川、代理・伊王野）

キャリア支援委員会の性質上参加してもらっている大学院生の学業への支障を考慮して提案された委員交代を全会一致で承認した。

#### [資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2-1 公益社団法人日本天文学会理事会（2017年6月3日）議事録

資料2-2 公益社団法人日本天文学会理事会（2017年7月19日）議事録

資料2-3 公益社団法人日本天文学会理事会（2017年7月26日）議事録

資料3 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料4 インターネット版日本天文学会「天文学辞典」の作成状況の報告

資料5 会費の値下げについて

資料6 「会費に関する催促」の変更について

資料7-1 日本天文学会天文教育普及賞の主旨と説明

資料7-2 日本天文学会天文教育普及賞内規（案）

資料7-3 具体的な運用方針についてのコメント：初代選考委員会への資料案

資料8 キャリア支援委員会の交代について

2017年9月11日

会 長：柴田 一成 印

副会長：林 左絵子 印

副会長：土居 守 印

監 事：立松 健一 印